

井戸尻考古館は話題満載！



女神の土偶を鑑賞



植栽田の畔でハス・スイレンの株分け



磨製石斧の使用実験



もみぎり式火おこし

企画展「新指定の文化財」開催

4月29日から5月28日まで、今春新たに町の文化財に指定された唐渡宮遺跡出土の人体絵画土器、坂上遺跡の土偶など6点が井戸尻考古館で一般公開されました。

人体絵画土器には、毛筆によって墨のようなもので母神が出産する状景が描かれています。来館された皆さんは、遙かなる太古の芸術を心ゆくまで鑑賞していました。

考古館のハス 株分け

29日には同館で植栽しているハス・スイレン・カキツバタの株分けが行われ、町内外から大勢の方が集まりました。

考古館ではこれらを水田に植栽していますが、ハス・スイレンを家庭で育てる場合は、深めの容器に半分ほど土を入れ、10cm位のため水にして植え付けるとよいそうです。

春の縄文体験

5月5日 子どもの日、井戸尻史跡公園では「春の縄文体験」が行われました。

飾り玉づくりや丸木弓の的当て、火おこし体験のほか、乳棒状磨製石斧の使用実験が行われました。磨製石斧は、縄文時代立木を切り倒す道具として使われたもので、たいてい乳棒形にした石の一端を研いで鋭利な刃をつけ、木の柄にはめ込んだものです。実際に使用してみると、切れ味はなかなか、縄文人の知恵と技術はすごいですね。

“アドベンチャー イン 富士見” 開催

5月14日 パノラマリゾートを起点とした入笠山一帯で3回目となる自転車レース “アドベンチャー イン 富士見” が開催されました。

今回は過去最高の510人が参加、今までより険しい山道が長くなったコースに挑みました。町内から参加された男性は、「去年よりかなりきついコースの上、入笠山頂付近はとても寒くてきびしいレースでした。」と感想を語りました。

大きな試練への挑戦とゴールをくぐった時の達成感が、この競技の何よりの魅力です。

